

令和5年度

相談支援従事者指導者養成研修

ケアマネジメント基礎コースガイダンス

11:00~15:30

ケアマネジメント基礎コース カリキュラム

本日の講師

社会福祉法人唐池学園貴志園
富岡貴生 氏

名古屋市総合リハビリテーション事業団
小島 一郎 氏

かながわ障がいケアマネジメント従事者
ネットワーク
岡西 博一 氏

社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会
岡村 英佑 氏

福井県相談支援専門員協会
平吹威一郎 氏

徳島県
名西郡障がい者基幹相談支援センター
川島 成太 氏

長野県上小圏域基幹相談支援センター
橋詰 正 氏

11:00~12:10	PG A-1 実践報告 I		
	11:10~11:20	全体	PG3 演習ガイダンス
	11:20~11:25	ブレイクアウト	アイスブレイク（グループ内自己紹介）
	11:25~12:00	ブレイクアウト	実践報告 1 令和5年度相談支援従事者初任者研修の振り返り
	12:00~12:10	全体	実践報告 1 の振り返り（全体共有）
12:10~13:10	昼休憩		
13:10~14:10	PG A-2 実践報告 II		
	13:10~13:20	全体	PG4 演習ガイダンス
	13:20~14:00	ブレイクアウト	実践報告 2 令和5年度相談支援従事者現任研修の振り返り
	14:00~14:10	全体	実践報告 2 の振り返り（全体共有）
14:10~14:25	休憩		
14:25~15:30	PG A-3 実践報告 III		
	14:25~14:35	全体	PG5 演習ガイダンス
	14:35~15:15	ブレイクアウト	実践報告 3 演習講師養成及び実習受入状況や養成（主任相談支援専門員の活用）等
	15:15~15:30	全体	ケアマネジメントコースのまとめ（講師の所属する都道府県での取り組みの概要説明）

令和5年度 相談支援従事者指導者養成研修 ケアマネジメント基礎コース(初任者研修・現任研修)事前振り返りシート (3月8日までに提出をお願いします)

都道府県名:		受講者氏名:		
令和5年度 都道府県相談支援従事者研修の状況報告				
		演習の実施内容(方法や工夫)	演習の効果(振り返り)	令和6年度への課題・改善点
初任者研修	ケースレポート 情報収集とアセスメント ※アセスメントツールの 導入など			
	基礎的スキルの学び ①ストレングスの視点 ②インフォーマル資源の 活用			
	実習(インターバル)と 本研修演習との連動 ①ケアマネジメント ②協議会(地域を知る)			
現任研修	意思決定支援 個別支援に基づく視点			
	多職種連携 福祉コミュニティとしての 地域づくりの視点			
	人材育成 地域を作る相談支援 本人の視点に立った地域 アセスメントと地域課題を 協議会で検討			
		準備・講師養成・実習実施状況	実習の効果(振り返り)※ 自分の地域の実践	OJT体制整備への推進状況
研修体制整備	演習講師養成 実習受入状況や養成 (主任相談の活用など)			

本日の演習

事前課題をお手元にご準備下さい。

画面共有される方は、ご準備下さい。

グループは、6月の時のグループと同じです。

令和5年度
ケアマネジメント基礎コース
6月の研修の再確認

【研修構造とスケジュール】

ケアマネジメント基礎コースの目的

1. 初任者研修

ケアマネジメントを学ぶ入口であることから、相談支援従事者初任者研修の構造と各科目の獲得目標と内容を理解して頂くことが研修企画の基礎となる。（ケアマネジメントプロセスの理解）

2. 現任研修

地域を基盤としたソーシャルワーク実践が行える技術を身に着ける。

- ① 個別支援ではストレングスに着目した意思決定支援を通して、自己肯定感を高めエンパワメントされていく過程
- ② インフォーマルサービスを含めた多職種連携をチームアプローチを通じ絵実践する技術・能力の獲得
- ③ コミュニティワークの理論と方法を理解した実践
- ④ 相談支援実践へのスーパービジョンを取り入れていく構造である。

3. 主任研修は、相談支援の実践者を実地教育により人材育成を展開し、地域においてOJT体制を構築しながら、主任自らが地域作りの実践を展開するための構造を理解する。

※地域作りは、現任者の実践から既に始まっている。

4. 初任者・現任・主任研修の構造・目的・受講者に伝える内容を基礎として、研修を組み立てるため、本研修を通じて各都道府県研修の振り返りの自己点検の機会として頂く。
5. 本研修をきっかけに、今後の研修の在り方の再検討の機会と同時に、法定研修をきっかけとした市町村単位で人材育成をするOJT体制の構築への動き出しを本格化して頂く。

令和5年度相談支援従事者指導者養成研修構造

研修構造とスケジュール

初任者研修

研修科目	スケジュール (テーマ)
ケアマネジメントにおけるアセスメントとその教育方法	6月7日 講義 6月8日 演習 1. アセスメント力を高めるために (ニーズ整理票) 2. ケースレポート 3. ケース検討
初任者研修のニーズ整理票導入について	6月8日 講義 1. 【3日目演習】と (実践での活用) 2. 法定研修準備 講義 演習
基本的スキルの獲得に向けた教育方法 ストレングスとインフォーマルの活用	6月9日 午前① 講義 演習 振り返り

現任研修

研修科目	スケジュール (テーマ)
法定研修の流れと現任者に求めるスキル	6月9日 午前② 講義 多職種協働・地域作り実践へ
現任者としての実践への教育方法	6月9日 午前② 演習

研修科目	スケジュール
都道府県4コースの共有	6月9日 午後 初任・現任・主任研修と目指すべき実践へ

地域作りコース

地域作りとは

具体的な実践内容や実践方法

人材育成コース

スーパービジョン

実地教育の内容や実践方法

人材育成体制の整備

協働

自治体職員コース

相談支援の基本的理解

相談支援の充実と強化

都道府県による市町村支援

法定研修の実施と相談支援体制整備 6

都道府県相談支援従事者研修の状況報告
 初任者・現任研修の企画・統括・演習講師の整備状況やそのための事前準備状況・課題の整理

演習と実習の実施状況

事前準備状況(統括・演習講師・実習受入者)

令和4年度の
課題・改善点

初任者研修

「ストレングスとイン
フォーマル資源の活
用」について

演習講師
養成

実習受入状況や養成
(主任の活用など)

現任研修

演習カリキュラムの企
画・実施

- ①多職種連携
- ②スーパービジョン
- ③コミュニティワーク

演習講師
養成

実習受入状況や養成
(主任の活用など)

実践

令和5年度都道府県

相談支援従事者
初任者研修

令和5年度都道府県

相談支援従事者
現任研修

令和5年度都道府県

相談支援従事者
主任研修

相談支援従事者**初任者研修**を基盤に実習体制整備

<p>相談支援 (ケアマネジメント)の基礎技術に関する実習1</p>	<p>実習現場での相談支援(ケアマネジメント)のプロセスの経験を通じて実践に当たっての留意点や今後の学習課題等を認識する。</p>	<p>障害福祉サービス等を利用する障害児者への居宅訪問を行い、面接による情報収集・アセスメント、プランニングを行う。</p>
<p>相談支援 (ケアマネジメント)の基礎技術に関する実習2</p>	<p>実習現場での相談支援(ケアマネジメント)のプロセスの経験を通じて実践にあたっての留意点や今後の学習課題等を認識する。</p>	<p>実践研究1(実践例の共有と相互評価1)における相互評価を踏まえ、必要に応じて追加の情報収集及び再アセスメントを実施し、プランニング内容の修正を行う。</p>
<p>地域資源に関する情報収集</p>	<p>相談支援(ケアマネジメント)に活用する地域資源の実際について理解する</p>	<p>地域(市町村・障害保健福祉圏域等)における地域資源(公的機関、障害福祉サービス・障害児支援サービス提供事業所、(自立支援)協議会など)に関する情報を収集し、所定の書式に記録する。</p>

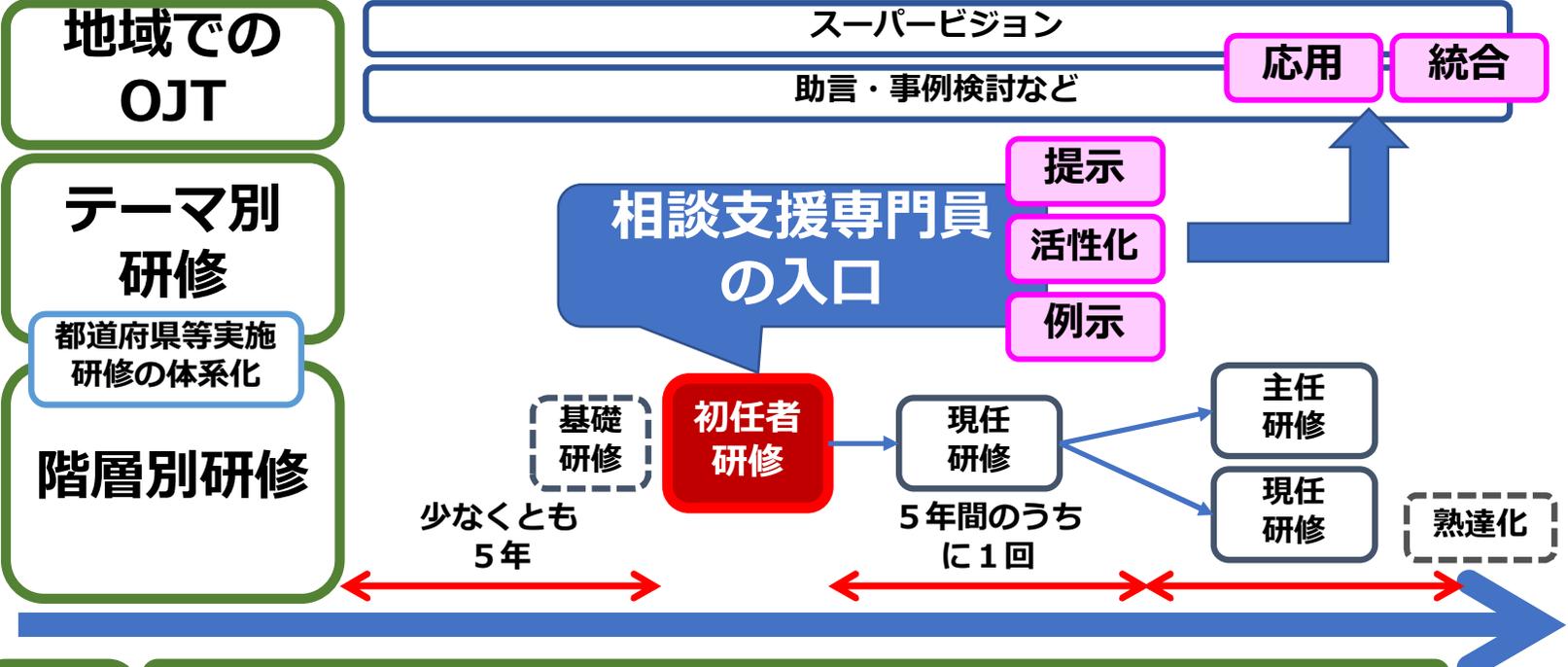
実践報告 I

相談支援従事者**初任者研修**の振り返り

11:00~12:10



継続的な学びの中での初任者研修とその獲得目標



獲得目標

- ① 地域を基盤としたソーシャルワークとしての障害者相談支援の価値と知識を理解する。
- ② 基本相談支援の理論と実際を理解し、障害者ケアマネジメントのスキルを獲得する。
- ③ 計画相談支援の実施に関する実務を理解し、一連の業務ができる。
- ④ 地域づくりとその核となる（自立支援）協議会の役割と機能を理解する。

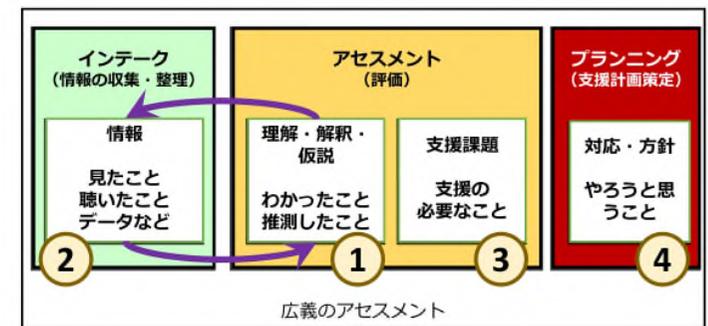
アセスメントとは

本人の夢・希望の実現や課題の解決に向け、必要な根拠(情報)をおさえ(収集し)整理・分析する。

【本人の人となり】・【本人の夢・希望・解決したい課題】

『夢・希望・課題解決への必要な状況把握』するために、本人や環境に関する多角的・総合的な情報から、理解・解釈・仮説を相談支援専門員自らが根拠をもって可視化・言語化する。

ニーズ整理の方法 (1)



ケースレポートができる力を育てる (実践モデルを業務にする入口研修)

人材が育つチームを作るためのトレーニングのための技術です。

初任者・現任研修の演習(アセスメントの説明・サービス担当者会議での計画説明・
ケース検討での事例説明でも取り入れますが、現場でのトレーニングの入口準備研修です。

評価項目

- 5分以内で終わったか、終わらなかったのは何故か、どうすれば短くなるか
- ケースを包括的(生物-心理-社会的)に捉えていたか
- 『アセスメント』を述べていたか(1人称で!)
 - 一つ一つの情報を自分なりに解釈し、それらを組み立て、生じている問題の成り立ち**メカニズム**を構成し(まとめ上げ)、支援課題を抽出すること、あるいは、その人がどんな人で、どんな支援を必要としているのかを明らかにすること
- 支援経過や状況説明だけで終わっていないか
- アセスメントと情報との整合性はどうか、情報に過不足はないか
- おもな支援課題がいくつかあるかを明確に示したか
- それぞれの支援課題について具体的な対応・方針が示されていたか
- わかりやすかったか、もっとわかりやすくするには？



令和5年度 相談支援従事者指導者養成研修 ケアマネジメント基礎コース(初任者研修・現任研修)事前振り返りシート (3月8日までに提出をお願いします)

都道府県名:

受講者氏名:

令和5年度 都道府県相談支援従事者研修の状況報告

		演習の実施内容(方法や工夫)	演習の効果(振り返り)	令和6年度への課題・改善点
初任者研修	ケースレポート 情報収集とアセスメント ※アセスメントツールの導入など			
	基礎的スキルの学び ①ストレングスの視点 ②インフォーマル資源の活用			
	実習(インターバル)と本研修演習との運動 ①ケアマネジメント ②協議会(地域を知る)			
現任研修	意思決定支援 個別支援に基づく視点			
	多職種連携 福祉コミュニティとしての地域づくりの視点			
	人材育成 地域を作る相談支援 本人の視点に立った地域アセスメントと地域課題を協議会で検討			
		準備・講師養成・実習実施状況	実習の効果(振り返り)※ 自分の地域の実践	OJT体制整備への推進状況
研修体制整備	演習講師養成 実習受入状況や養成(主任相談の活用など)			

アイスブレイク(自己紹介)

1. グループワークは、ブレイクアウトルームに移動して実施します。
2. 各グループには、演習講師が一人入ります。
3. 最初に、グループ内で自己紹介をして下さい。一言、本年度の相談支援従事者研修の思い出と一緒に、**一人1分以内**でお願いします。
4. 本日は、3つの実践報告を行いますので、進行役3名決めて下さい。
5. オンラインのため、記録は各自でお願いします。

実践報告の方法と内容

※ブレイクアウトルームは12:00まで

事前振り返りシートの『初任者研修』欄を中心に報告してください

- ① 今年度各都道府県での相談支援従事者研修の入口研修として、【アセスメント】・【基礎的スキルの獲得】・【演習と地域実習】との連動
- ② 演習を実施した効果(受講者の理解という視点での企画・実施)
- ③ 次年度への課題・改善点